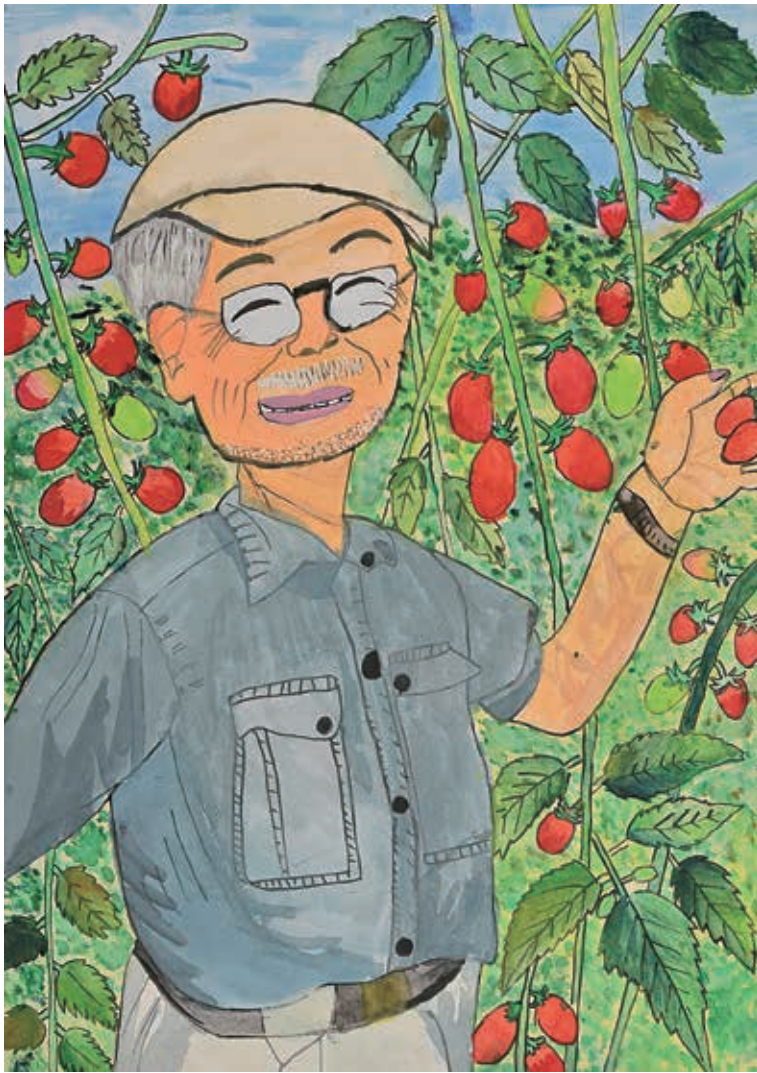


謹んでお見舞い申し上げます
このたびの能登半島地震によってお亡くなりになられた方のご冥福を
心からお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2023
👑 全国水土里ネット会長賞



行田市立太田小学校 3年 新井詩乃さん「おじいちゃんのミニトマトは世界ー！」

埼玉の土地改良

CONTENTS

<input type="checkbox"/> 新年のごあいさつ	1	<input type="checkbox"/> 水土里ネット職員研修会	16
<input type="checkbox"/> 第45回全国土地改良大会福井大会開催	6	<input type="checkbox"/> 疏水フォーラム in 常西用水2023	17
<input type="checkbox"/> 農業農村整備の集い	7	<input type="checkbox"/> 2023ため池フォーラム in とっとり	18
<input type="checkbox"/> 埼玉県知事への要望活動	9	<input type="checkbox"/> 「2023彩の国食と農林業ドリームフェスタ」開催結果	19
<input type="checkbox"/> 令和6年度 農林水産予算概算決定の概要	10	<input type="checkbox"/> 第11回「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト」	20
<input type="checkbox"/> 令和5年度第2回理事会・第3回監事会開催	11	<input type="checkbox"/> 受賞作品	21
<input type="checkbox"/> 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会	11	<input type="checkbox"/> 土地改良区理事、監事、職員並びに市町村担当職員等研修会	24
<input type="checkbox"/> 「令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」開催	12	<input type="checkbox"/> 農業基盤整備資金の金利改定について	24
<input type="checkbox"/> 令和5年度 土地改良施設の診断・管理指導結果の概要	13	<input type="checkbox"/> 連合会日誌	24
<input type="checkbox"/> 「さいたま水土里ネット女性の会」現地研修会開催	15		

新年のごあいさつ

水土里ネットさいたま
埼玉県土地改良事業団体連合会
会長 三ツ林 裕 己



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進に、格別のご支援とご協力頂いておりますこと、心より感謝と敬意を表します。

まず、1月1日夕方に発生した能登半島地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方のお見舞いを申し上げます。

改めて昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は5月に2類から5類感染症に移行し、日常生活が徐々に戻ってまいりました。

しかしながら、ロシアのウクライナ侵略は終結の兆しが全く見えず、国民生活に不可欠な食料とエネルギーの多くを輸入に依存している我が国を直撃しております。

特に原油価格等の高騰に伴って、電気料金が2年続けて高騰しております。そのため、全国的水土里ネットが国に対し支援を要請し、本会でも8月に財務省、農林水産省及び埼玉県知事に支援を要請しました。

その結果、埼玉県では、昨年度に引き続き「電力・ガス・食料品等高騰重点支援地方交付金」を財源とし、「土地改良施設緊急支援事業」約2億2千万円の補正予算を組み、土地改良区が管理している揚水機場、排水機場及び事務所の電気料金高騰分を支援いたしました。

この国の対応は、二階俊博会長のもと、参議院の進藤金日子議員、そして宮崎雅夫議員を中心として、多くの土地改良を推進する議員の声、政府を動かしたことによります。

10月には、第45回全国土地改良大会福井大会が福井県越前市で開催されました。『「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～』を大会スローガンに、全国の土地改良関係者、約4,000名が一堂に会し、農業を支える農地と水を守る、土地改良の役割を語り合う大会となりました。

さて、埼玉県は、昨年は大きな自然災害はありませんでしたが、令和元年10月の台風19号による被害は、未だ記憶に新しいところでございます。

毎年のように、大規模地震や豪雨災害が頻発しており、県民の生命と財産を守るためには、農村地域の防災、減災対策がますます必要となっております。

特に「防災重点ため池」の対策につきましては、県内244か所の「防災重点ため池」の内、耐震、豪雨及び劣化調査の結果、9割を超える施設の改修が必要になりました。特別措置法は令和12年までの時限法ですので、計画的に改修を進める必要があります。

さて、来年度の農業農村整備関係予算ですが、昨年末閣議決定された政府案では、令和6年度当初予算4,463億円と令和5年度補正予算1,777億円とを合わせ、6,240億円が確保されました。

新型コロナウイルス感染症及びウクライナ危機による疲弊した経済の立て直しのために、政府の財政が非常に緊迫している状況の中で、現場のニーズにしっかり応えられる予算規模です。

農業は国の基です。本県においても、ほ場整備事業等により担い手の規模拡大が進むとともに、新たな担い手も生まれております。引き続き農業農村整備事業の充実した予算を確保し、生産性の向上、農業所得の増大、農家経営の安定等、豊かさを感じる農業農村の実現に向け邁進してまいります。

令和6年の新春を迎え、本会役職員一丸となって、会員の支援に努めてまいりたいと考えておりますので、引続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本県農業農村の発展と、会員並びに関係皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ「未来志向で新時代を切り拓く」



埼玉県知事 大野 元 裕

明けましておめでとうございます。

まずは、元日に発生した「令和六年能登半島地震」でお亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

埼玉県土地改良事業団体連合会の皆様におかれましては、本県の農業農村整備事業の推進に御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

本年は、経済の正常化にとどめることなく、人口減少・超少子高齢社会の到来と、激甚化・頻発化する災害、危機への対応という、埼玉県が直面する二つの歴史的な課題に敢然と立ち向かい、持続的な発展を確かなものとする年にしなければなりません。

これらの歴史的課題に立ち向かうためには、10年後、20年後を見据えた未来志向の施策展開が必要です。

まず、一つ目の人口減少・超少子高齢社会への対応として、社会全体の生産性を向上させることで持続的成長を成し遂げるため、DXを更に推進し新たな価値やサービスを創出するほか、業務プロセスを変革させ不連続の行財政改革を推進してまいります。

また、職住が近接した環境の整備とともに、地域での高齢者や子供たちの見守りを可能にする「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を強力に推進し、できるだけ早期に全市町村に御参加いただくことを目指します。

二つ目の様々な危機への対応として、関係機関の連携に主眼を置き様々なシナリオ作成や図上訓練を繰り返す「埼玉版FEMA」をより一層充実させ、県民の安心安全を確かなものとしてまいります。

他方で、エネルギー・物価高騰対策については、引き続き支援の手を緩めることなく取り組みつつ、経済と環境の両立による持続的な発展のため、サーキュラーエコノミーとネイチャーポジティブの推進を更に強化してまいります。

さらには、子供への医療費助成など、社会の宝である子供への支援強化とともに、あらゆる人が活躍できる社会づくりを進めてまいります。

農業農村整備分野においては、エネルギー価格の高騰を受け、「土地改良施設緊急支援事業」や「水利施設管理強化事業」により、電気料金高騰の影響を受ける土地改良区への支援や省エネ化の推進を行ってまいりました。

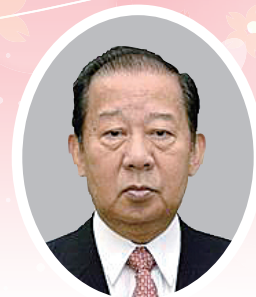
県としても、引き続き、農業農村整備に全力で取り組んでまいります。農地や農業水利施設の管理を担い、県土の発展を支えてきた貴連合会の皆様のお力添えが不可欠です。引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、映画「翔んで埼玉」の続編の公開に続き、今年も、渋沢栄一翁がデザインされた新一万円札が発行される予定であるなど、本県に注目が集まる今こそ、県内外に埼玉の魅力を発信するチャンスです。

今年の干支「辰（たつ）」のように、埼玉県にとって大きな成長の年となるよう、皆様と共に「ワンチーム埼玉」で県政に取り組んでまいります。

新年に当たって

全国水土里ネット
全国土地改良事業団体連合会
会長 二階俊博



令和六年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

本年元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当会も被災地域の日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、関係各位におかれましてもご支援をお願いします。

去年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。

国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。

我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。

御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第五次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は二年余りとなります。

将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。

男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。

本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、全国の皆様が日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶といたします。

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
財務大臣政務官
参議院議員 進 藤 金日子



新年、明けましておめでとうございます。

本年は元旦から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

埼玉県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下において、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円（TPP等対策：760億円、食料安全保障対策：460億円（うち重複300億円）、国土強靱化5か年加速化対策：857億円）が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。

新年あいさつ

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎雅夫



元日の夕刻に発生した「令和6年能登半島地震」において、御尊命を失われた方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。さらに、被害に遭われ、不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、速やかな生活環境の確保・回復と、今後進められる農地・農業用施設を含む被害状況の把握や早期復旧に向けまして、私も関係機関等と連携しながらしっかりと対応してまいります。

また、本件地震のほかにも、昨今の激甚化、頻発化する気象災害は、昨年も全国各地で風水害や土砂災害等を発生させ、さらに、夏場の高温や渇水など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げ、早期復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいります。

さて、辰年を迎え、埼玉県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様の声を国政の場で発信し、また、たくさんのご要望等に対しても、それぞれの地域事情に即した解決策等に向け、全力で対応してまいったところであり、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、土地改良関係として、昨年度の補正予算から100億円増の1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靱化対策857億円）を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料高騰分の7割を支援する制度を4月まで延長する対策も含まれています。加えて、12月に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正予算と合わせた総額は6,240億円となっております。これから行われる通常国会において早期成立に向け、参院予算委の理事として努力してまいります。

さらに、来る通常国会では、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」を四半世紀ぶりに改正する予定であり、我が国の食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化等についてしっかり議論を進め、基本法に位置付けていく必要があります。さらに土地改良が担う重要な役割としての農地や水利施設等の整備・保全管理を含め、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業等の取組推進や農業農村関係人口の拡大など、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、現場や地域の課題をしっかりと伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や制度の充実に向け、鋭意努力してまいります決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、埼玉県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の方々の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

第45回全国土地改良大会福井大会開催

第45回全国土地改良大会が去る10月11日（水）、福井県越前市の「サンドーム福井」において、「**水土里がある**^{みどり}
幸福がある^{しあわせ} **笑顔がある** ～ふくいで語る土地改良の未来へ～」をテーマに、全国から農業農村整備にかかわる関係者4,000名が参集し、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、関係者の総力をあげて我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的として開催された。

式典では、開催県である福井県土地改良事業団体連合会 山崎正昭会長の開会挨拶に続き、主催者の全国土地改良事業団体連合会 二階俊博会長の挨拶が、義経賢二副会長の代読で読み上げられた。その中で、「永平寺を開山した道元弾師の柄杓に汲んだ水を必要な分だけ使ったら、残りの水を元の川に戻した」とのエピソードを紹介し、「どんなに水が豊かにあっても、その一滴を戻せば下流で水を使う人の為になるから」とその意味を説明した。さらにこの「**杓底一残水**^{しゃくていいちざんすい}」の心は、土地改良の神髄であり、古来より先人の間で脈々と受け継がれてきた精神でもある。この大会を通じて土地改良の大切さを全国の皆様と共有し、発信して行こう」と述べられた。さらに、福井県の杉本達治知事、越前市の山田賢一市長、鯖江市の佐々木勝久市長から歓迎の挨拶があった。続いて、来賓祝辞として、武村展英農林水産副大臣、稲田朋美衆議院議員、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員がそれぞれお祝いを述べられた。

次に、土地改良事業功績者表彰として、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰44名に表彰状と記念品が授与され、本県からは、荒川右岸用排水土地改良区の内田光夫理事長が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された。

基調講演では、「未来へつなぐ土地改良」と題して、青山健治農林水産省農村振興局次長より土地改良をめぐる情勢について説明があった。

その後、優良事例地区紹介として、南砺市土地改良区、福井県土地改良事業団体連合会から「土地改良における男女共同参画の取組について」紹介された。

最後に、福井県立大学の学生2名による大会宣言が朗読され、次期開催県である千葉県へと大会旗が引き継がれ閉会となった。

翌日は、福井県にある国営かんがい排水事業 九頭竜川下流鳴鹿中央管理所等の事業視察を行った。



全国土地改良事業団体連合会
会長表彰を受賞された内田理事長



参加者大会会場



全土連義経副会長あいさつ

農業農村整備の集い

去る令和5年11月7日シェーンバッハサポー（千代田区永田町）に於いて、令和5年度補正予算及び6年度当初予算の確保に向けた「農業農村整備の集い」が、多数の国会議員を含む1,100名の土地改良関係者が全国から参加して開催された。

開会にあたり、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問が挨拶を行い、続いて全国土地改良大会の令和6年度開催県である水土里ネット千葉の小島参事が要請書を朗読し、満場の拍手をもって全会一致で採択された。

また、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問の情勢報告に続き、去る9月27～28日ホテル鹿角（秋田県鹿角市）で開催された『令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno』の概要報告が、全国水土里ネット女性の会の根本由紀子会長より行われ、土地改良団体の運営について、人材の多様化を図る意義を確認した。

休憩を挟んだ再開後には、二階俊博全国水土里ネット会長から「来年度予算に向けた編成が進められているが、農家の方々の期待に応えられる予算の確保に一致団結して取り組む。また、土地改良の男女共同参画は、取り組みを本格化させ、目標達成に集中的に取り組んでいかなければならない。『闘う土地改良』は限りなく続く、さらなる闘いを続けるようお願いしたい。」と挨拶があった。

来賓の宮下一郎農林水産大臣をはじめ高市早苗経済安全保障担当大臣、森山 裕自民党総務会長、細田健一自民党農林部会長から祝辞が述べられた後、全国水土里ネット女性の会の根本会長らによる力強い「ガンバロウ三唱」の発声と盛大な拍手をもって、盛会裡に閉会となった。

閉会后、本県からの参加者らで、本県選出の国会議員へ要請活動を行った。



二階全土連会長の挨拶



ガンバロウ三唱風景

要 請 文

- 一 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、次の観点に留意して必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実を図ること。
 - (一) 農業の競争力強化や、国産農産物の増産による輸入農産物からの置換え等を図っていくため、「農地の区画の拡大」や排水改良による「水田の汎用化」が引き続き重要であること。
 - (二) 農業用水を安定的に確保するため、「農業用排水施設の機能の維持増進」が引き続き重要であり、さらに、頻発する突発事故等を踏まえ、「農業生産の基盤の整備」に加えて、農業生産の基盤の保安全管理が重要となっていること。
 - (三) 豪雨災害や大規模地震のリスクを踏まえ、農業・農村の防災・減災対策の強化が重要となっていること。
 - (四) 中山間地域等直接支払のみならず、基本法制定後に法定化された多面的機能支払が、農地・農業用水の維持等を図る上で重要な役割を果たしていること。
 - (五) 農業の生産基盤の整備及び保安全管理に関する技術の開発及び普及が重要であること。
 - (六) 土地改良区は、食料生産に不可欠な農地・農業用水の整備及び維持管理という公共的役割を果たしており、食料安全保障の強化に向けて、運営体制の強化を図る必要があること。
- 三 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化など、事務手続の効率化等に向けた取組を推進すること。
- 四 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 五 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進するとともに、燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給等が可能となるよう対策を推進すること。
- 六 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進すること。
- 七 中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮すること。
- 九 水田活用の直接支払交付金の見直しに伴う水田の畑地化を進めるに当たっては、現場の実情を踏まえ、引き続き必要な措置を講ずること。
- 十 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

埼玉県知事への要望活動

令和5年11月13日（月）埼玉県庁

本会の三ツ林会長、原田副会長、坪井副会長、大岡常務理事は、去る11月13日、埼玉県の大野知事、堀光副知事、砂川副知事、横塚農林部長、吉田農村整備課長と面会した。

今般の電気代高騰分に対する助成制度として、土地改良施設緊急支援事業を創出いただいたお礼を伝えると共に、下記4項目を要望した。

◆重点要望事項

- 1 大区画ほ場整備の推進
- 2 農業水利施設の計画的な補修・更新
- 3 農業用ため池の防災・減災対策の推進
- 4 農業集落排水施設の更新



【大野県知事】

「県の5ヵ年計画において、農林業の推進、災害危機に強い埼玉の構築を将来像に掲げている。その中で、水田の大区画化、農地集約・集積、担い手の育成支援、コメの生産コストの低減、高収益作物の導入を図ると共に、農業用水を供給する水利施設の計画的補修を重要な案件として捉え、着実に取り組んでいきたい。また、近年頻発する自然災害に備え、ため池や農業集落排水施設の老朽化に伴う補修・更新も計画的に進めていきたい。就農者の増益なくして食料安全保障は実現しないと理解している。しっかりと支えたい。」と力強い言葉をいただいた。



（左から）坪井副会長、三ツ林会長、大野県知事、原田副会長、大岡常務理事

令和6年度 農林水産予算概算決定の概要

令和6年度予算の政府案が令和5年12月22日（金）に閣議決定されました。

農林水産予算総額は別表のとおり2兆2,686億円（対前年比100.0%）を計上。このうち農業農村整備事業概算決定額は、3,326億円（対前年比100.1%）となっている。

令和6年度農林水産関係予算の骨子

総括表

区分	5年度 予算額	6年度 概算決定額	5年度補正 追加額
	億円	億円	億円
農林水産予算額 (対前年度比)	22,683 -	22,686 100.0%	8,182
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,983 -	6,986 100.0%	3,592
一般公共事業費 (対前年度比)	6,782 -	6,784 100.0%	2,848
災害復旧等事業費 (対前年度比)	201 -	202 100.6%	744
2. 非公共事業費 (対前年度比)	15,700 -	15,700 100.0%	4,590

- (注) 1. 金額は、関係ベース。
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

公共事業費一覧

区分	5年度 予算額	6年度 概算決定額	5年度補正 追加額
	億円	億円	億円
農業農村整備 (対前年度比)	3,323	3,326 100.1%	1,777
林野公共 (対前年度比)	1,875	1,877 100.1%	745
治山 (対前年度比)	623	624 100.1%	268
森林整備 (対前年度比)	1,252	1,254 100.1%	477
水産基盤整備 (対前年度比)	729	730 100.1%	300
海岸 (対前年度比)	81	81 100.0%	26
農山漁村地域整備交付金 (対前年度比)	774	770 99.5%	-
一般公共事業費計 (対前年度比)	6,782	6,784 100.0%	2,848
災害復旧等 (対前年度比)	201	202 100.6%	744
公共事業費計 (対前年度比)	6,983	6,986 100.0%	3,592

- (注) 1. 金額は、関係ベース。
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
4. 農業農村整備事業関係予算は、6,240億円。その内訳は以下のとおり。
・農業農村整備事業 3,326億円
・農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分 588億円
・非公共の農業農村整備関連事業 548億円（農地耕作条件改善事業、畑作等促進整備事業、農業水路等長寿命化・防災減災事業、農山漁村振興交付金）
・5年度補正額（農業農村整備事業）1,777億円

令和5年度第2回理事会・第3回監事会開催

本会は11月20日（月）に令和5年度第2回理事会・第3回監事会を開催した。次の議事について審議し、それぞれ全て原案通り可決された。

【第2回理事会議事】

議案第1号 令和5年度収支補正予算（案）の承認について
（報告事項）今後の会議開催予定、令和5年度収支状況について

【第3回監事会議事】

議案第1号 令和5年度収支補正予算（案）の承認について



都道府県水土里ネット女性理事意見交換会

去る11月15～16日、長野県長野市にて都道府県水土里ネット女性理事を対象とした意見交換会が開催され、計49名の参加があった。本会からは理事の山口京子蓮田市長と認定NPO法人水のフォルム藤原梯子理事長のお二方が参加された。意見交換会では女性理事を登用する意義について様々な意見が寄せられ、土地改良という分野のなかで女性理事に求められる役割について多くの議論がなされた。

11月15日（水）

【挨拶】 水土里ネットながの会長 藤原忠彦氏

【講話】 「食料安全保障と土地改良」全国水土里ネット専務理事 室本隆司氏

【意見交換会】 趣旨説明：水土里ネットながの専務理事 白鳥公晴氏

ファシリテーター：全国水土里ネット専務理事 室本隆司氏

【情報提供】 宮崎雅夫後援会 平岩雅彦氏

11月16日（木）

【現地研修会】 ・ 県営事業中山間総合整備事業 信州高山地区

・ 合同会社 岡木農園

・ 小布施町中心エリア



意見交換会の様子



集合写真

「令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」開催

令和5年9月27日～28日、「令和5年度 水土里ネット男女共同参画推進大会 in Kazuno」が秋田県鹿角市「ホテル鹿角」において開催された。本県からは、さいたま水土里ネット女性の会の牛山会長他2名が出席した。

本大会は、男女共同参画推進の意義をより一層深めるとともに、先進的取組事例等を学び、個々のスキルアップを図りながら、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的とし、全国の水土里ネット女性の会会員及び関係者約230名が参加した。

あきた水土里ネット女性の会 根本会長は、「男女共同参画は、水土里ネットにおいても積極的に取り組み、運営に参画する人材の多様化を図っていくことが重要だと考えている。それぞれの地域で男女共同参画が一層推進され、新時代にふさわしい土地改良区の創造に向けた新たな一歩となることを祈っている」と挨拶した。来賓の全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎参議院議員と進藤参議院議員（代読）、全国水土里ネット室本専務理事（代読）の祝辞の後、農林水産省農村振興局の佐藤一絵農村政策部長による「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」と題した基調講演が行われた。佐藤部長は、「男性中心の農業現場で女性が活躍するためには、社会全体の構造を変え、意識改革が必要。また、男女の違いにかかわらず、活躍の機会を与えることに理解を深めるべき」と話した。

続いて、秋田県立大学の長濱副学部長をコーディネーターに「男女共同参画社会を実現するためには」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、それぞれ地元土地改良区での現状、今後の目標などを語った。

二日目は、「女性たちがより豊かに、そして輝ける場所を求めて」と題した現地研修トーク講演があり、地元で活躍している女性農家の方が精力的にチャレンジしていることなどをお話しされた。その後、現地視察を行い、大会は終了した。男性中心の土地改良の分野においても、積極的に行動していくことによって、女性が活躍できる世界が広がる可能性がある。固定的な役割分担意識にとらわれず、お互いに協力していくことが必要と感じた。



記念撮影

令和5年度 土地改良施設の診断・管理指導結果の概要

土地改良区体制強化事業 施設・財務管理強化対策において実施した「令和5年度土地改良施設の診断・管理指導」について、本年度は定期診断・要請診断を合わせ延べ46地区、108施設の診断を行った。



<診断実施期間>

定期診断：令和5年7月～10月

要請診断：令和5年7月～8月（緊急に要請診断が必要な場合等は期間外も実施。）

<診断対象施設>

基幹的な土地改良施設で、農業用施設機能を有するおおむね以下の施設。

種 目	ダ ム	頭首工	用排水機	樋(水)門	ため池	その他	水 路
受益面積	10ha以上						20ha以上

◎定期診断指導

県内の基幹的土地改良施設を対象（下表）に、竣工年度や過去の整備補修年度等から勘案し、当会で選定した施設の診断指導を実施するもの。（10年サイクル計画）

定期診断対象地区及び施設数（H29年度土地改良施設調査より）

区 分	土地改良区・市町村数			土地改良施設数							
	改良区	市町村	計	ダ ム	頭首工	用排水機	樋(水)門	ため池	水 路	その他	計
埼玉県全体	76	30	106	—	24	875	479	—	—	—	1,378
うち令和5年度 診断対象	17	7	24	—	1	51	34	—	—	—	86

※その他：水管理施設、除塵機など

◎要請診断指導

当年度定期診断指導施設以外の施設で、土地改良区等から要請のあった場合に実施するもの。

令和5年度 診断実施施設

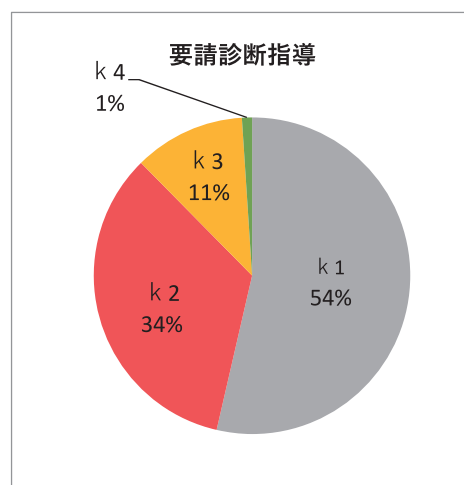
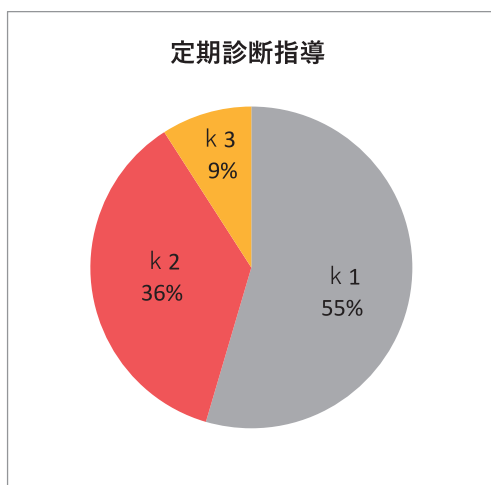
(R6.1.9時点)

区 分	土地改良区・市町村数			土地改良施設数								指導 延日数
	改良区	市町村	計	ダム	頭首工	用排水機	樋水門	ため池	水路	その他	計	
定期診断指導	4	2	6	—	0	6	5	—	—	—	11	42
要請診断指導	30	10	40	0	2	46	13	1	33	2	97	
計	34	12	46	0	2	52	18	1	33	2	108	

※重複地区あり

令和5年度 診断結果

総合評価	k1	k2	k3	k4	計
定期診断指導	6	4	1	0	11
要請診断指導	52	33	11	1	97
計	58	37	12	1	108



緊急度重大 (k1)	機能低下が著しく、早急に整備補修を要するもの
緊急度 大 (k2)	機能低下が見られ、整備補修の検討を要するもの
緊急度 中 (k3)	経年的な機能低下傾向にあり、計画的な整備補修の検討を要するもの
緊急度 小 (k4)	運用上支障はないが機能低下の兆候も出てきており、経過の観察を要するもの

本年度診断施設の適正化事業への加入計画予定状況 (R6新規加入に限る)

定期診断 11施設中、1 施設

要請診断 97施設中、37 施設

R6.1.9時点

「さいたま水土里ネット女性の会」現地研修会開催

さいたま水土里ネット女性の会は令和5年11月21日、活動計画の一環として現地研修会を実施し、農林振興センター、土地改良区、県土連の女性職員を合わせて31名が参加した。

研修では、群馬県にある天狗岩堰土地改良区への訪問と見学や、雄川堰、楽山園での見学と有意義な研修となった。天狗岩堰土地改良区では、羽鳥理事長・磯田事務局長より、世界かんがい施設遺産にも登録された天狗岩の歴史についてのお話を伺った。その後名勝楽山園では、織田信長の次男織田信雄によって築かれた庭園や、疏水百選の1つで400年もの歴史がある雄川堰から取水している昆明池を見学。歴史ある、昔から変わらぬ美しい景観に参加者一同が感動した。

今回の研修は、女性の会設立後2回目の現地研修会だったが、「他県の土地改良区のお話を聞くことができ、勉強になった」「他の土地改良区と情報交換ができとてもよかった」などの感想をいただき、会員同士のコミュニケーションも図れ、各々の見聞を広めることができた。今後は会員の皆様とのネットワークをさらに広げ、活躍を促進するための研修を計画していきたい。



現地研修の様子

さいたま水土里ネット女性の会 会員募集中!

さいたま水土里ネット女性の会は、ネットワークを継続していけるような仕組みを作っていくことで、会員同士の交流を深め、お互いが啓発しあうなかで自身のスキルや能力を向上させること、女性活躍に向けた環境づくりを促進することを目的とした組織です。

資格 本会の目的に賛同する各地域水土里ネットの女性職員（臨時職員含む）

会費 なし

会員数 69名（令和5年12月現在）

お問合せ先 埼玉県土地改良事業団体連合会 総務部総務課 TEL 048-530-7335



水土里ネット職員研修会

去る11月30日（木）から12月1日（金）にかけて、土地改良区職員を対象にした標記研修会が開催され、21名の方々にご参加いただきました。

研修

1 バス車内研修

① 世界かんがい施設遺産「備前渠用水路」について

講師：埼玉県土地改良事業団体連合会 総務課長 太田 東

2 村山六ヶ村堰土地改良区

① 土地改良区の概要及び農業用水路の維持管理について（室内研修）

講師：村山六ヶ村堰土地改良区 事務局 清水 澄香 氏

② 農業水利施設、かんがい施設、分水施設の見学（現地研修）

講師：北杜市 市民環境部 環境課 ゼロカーボン推進担当 大多和 健人 氏

3 サントリー天然水 北アルプス信濃工場

○ 未来へつづくものがたりツアー

4 大王わさび農場

○ 農場の歴史、水わさびの育成環境と栽培方法について



村山六ヶ村堰土地改良区（室内研修）



村山六ヶ村堰土地改良区（現地研修）



サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場



大王わさび農場

研修を終えて

今回視察した村山六ヶ村堰疏水は、見沼代用水、備前渠用水と同じく世界かんがい施設遺産でもあり、年間を通じた施設の維持管理に役員や地元の方々が精力的に取り組まれているのが印象的でした。

歴史ある施設、雄大な自然の中で育まれる水や作物をいかに次世代へ継承していくか、その在り方を考えさせられる研修となりました。

疏水フォーラムin常西用水2023

令和5年10月30日～31日の2日間、富山県において、疏水フォーラムin常西用水2023が開催され、埼玉県からも
当会職員含む数名が参加した。

このフォーラムは、農業用水だけでなく、地域の生活用水等、様々な機能を発揮している疏水の機能を広く周知
し、将来に引き継いでいくことができるよう、情報交換・情報発信等を行うことを目的に開催され、全国から約
800名の参加者が集まった。

概要

◆疏水フォーラム

日時：令和5年10月30日（月）

会場：富山国際会議場（メインホール）

《基調講演》

演 題：疏水をめぐる課題と対応

講演者：農林水産省農村振興局整備部水資源課
課長 瀧川 拓哉 氏

《講 演》

演 題：都市化が進む地域における農業用水の維持管理について

講演者：水土里ネット天狗岩 事務局長 磯田 靖 氏

《活動報告》

演 題：常西用水の維持管理活動について

講演者：水土里ネット常西用水 事務局長 水谷 英二 氏

《パネルディスカッション》

テーマ：都市地域の疏水の保全管理を考える

コーディネーター：上智大学グローバル教育センター

教授 杉浦未希子 氏

パネラー：水土里ネット常西用水

理事長 中川 忠昭 氏

水土里ネット天狗岩

事務局長 磯田 靖 氏

水土里ネット鹿妻

理事長 高橋 隆 氏

農林水産省農村振興局整備部水資源課

課長 瀧川 拓哉 氏



フォーラムの様子

◆現地研修

日時：令和5年10月31日（火）

会場：横江頭首工・左岸連絡水路橋・常西合口幹線水路・新庄排砂水門



横江頭首工



左岸連絡水路橋



新庄排砂水門

2023ため池フォーラムinとっとり

令和5年11月9日～10日の2日間、ため池の多面的機能の理解を深め、今後のため池の保全活動や地域活性化につなげることを目的として、「豊かな農村ささえるため池」をテーマに鳥取県内において開催された。

本フォーラムは、各都道府県や土地改良区の職員等を対象に、ため池の保全活動や地域活性化への取組、ため池の維持管理等の事例、防災への取組などの紹介があり、それらの情報を共有することで、各県において今後のため池に関する取組をより一層推進することとしている。

11月9日

内 容	説 明 者
開会宣言	鳥取県知事：平井 信治
来賓挨拶	農林水産省農村振興局整備部防災課課長：石井 克欣 全国土地改良事業団体連合会主任研究員：由谷 倫也 全国ため池等整備事業推進協議会副会長：宮崎 雅夫 鳥取県議会議長：浜崎 晋一
基調講演「鳥取県のため池に関する調査研究の取組み～産官学の連携を通して～」	鳥取大学農学部教授：清水 克之
(講演内容) ・低コストで洪水吐を補完する緊急放流装置や住民にメールや警告灯で通知する水位警報システムなど大きな改修を伴わない防災について	
情勢報告「ため池の防災・減災対策の取組状況について」	農林水産省農村振興局整備部防災課室長：渡部 和弘
(講演内容) ・防災工事の代執行などの事例を交えた「ため池管理保全法」及び「ため池工事特措法」の概要 ・災害関連事業で洪水吐きの断面を拡大させることによる流下能力の向上といった改良復旧による防災工事の加速化について	
事例発表	・鳥取県 ・鳥取県土地改良事業団体連合会 ・天神野土地改良区 ・久米ヶ原土地改良区
(発表内容) ・ため池監視システムの導入推進やため池サポートセンターの取組み 等	
次回開催県挨拶	秋田県農林水産部次長：大山 泰
閉会挨拶	鳥取県土地改良事業団体連合会会長：榎本 武利

11月10日

現地見学会（倉吉コース）	・大山池（狼谷ため池）
--------------	-------------



フォーラムの様子



大山池

「2023彩の国食と農林業ドリームフェスタ」開催結果

埼玉県農林部農村整備課

令和5年11月25日（土）及び26日（日）、熊谷スポーツ文化公園 にぎわい広場（熊谷市）において、「2023彩の国食と農林業ドリームフェスタ」が開催されました。

今回は、4年ぶりの開催であり、2日間で約18,000人が来場されました。

当日は県の農産物の即売会や、農林水産業を紹介するブース等が多数出展され、大いに賑わいました。

県農村整備課と水土里ネットさいたまでは、農業農村整備事業の取組みについての広報を目的として、県農村整備課及び各地域機関と水土里ネットさいたまで作成したパネルを展示しました。

展示したパネルの分かりやすさなどについて来場者にアンケートを実施し、ご協力いただいた方々には、記念品をプレゼントしました。

【会場の様子】



【東松山農林振興センター作成パネル】



アンケートの結果、得票数で1位に輝いたのは、東松山農林振興センター作成のパネルでした。

[得票数105票 回答者総数299名

※複数回答あり]

- ◆寄せられたご意見、ご感想の一部◆
- ・（写真が大きく）内容がパッと見てわかりやすい。
- ・美味しそうなおにぎりが目を引いた。
- ・美味しいおにぎりを食べるために必要なもの（農業農村整備事業）を理解できた。

など

第11回「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト」

テーマ ～埼玉を彩る農業・農村の^{みどり}水土里～

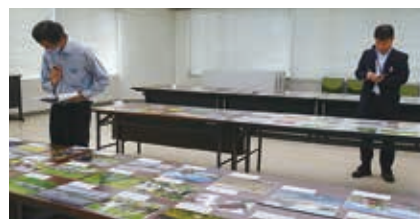
本会では、さいたま・川越・東松山・秩父・本庄・大里・加須・春日部の各土地改良推進協議会との共催で、第11回「彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト」を開催した。

埼玉県内の豊かな自然環境や美しい農村環境、農業の魅力を広く一般の方々に紹介し、関心を高めていただくために、「埼玉を彩る農業・農村の^{みどり}水土里」をテーマに募集したところ、295点の作品が集まった。

写真家の吉田功氏をはじめとした18名の審査員による審査が行われ、水土里ネットさいたま会長賞1点、各土地改良推進協議会会長賞8点、入選10点、学生優秀賞、審査委員長特別賞が決定した。



吉田審査員長



審査の様子



会長賞の皆様



入選・特別賞の皆様

表彰式は令和5年12月12日（火）本会大会議室において開催され、受賞者の方々には表彰状と記念品が授与された。当日は埼玉新聞社、日本農業新聞社、埼玉よみうり新聞社の取材があり、後日、各紙に記事が掲載された。

また、令和6年1月12日（金）から14日（日）の3日間、さいたま市のレイボックスホール（さいたま市民会館おみや）にて写真展を開催した。



写真展の様子

第11回彩の国 農業・農村景観フォトコンテスト

写真展

2024.1.12 (FRI) — 1.14 (SUN)
入場無料 9:00 ~ 17:00 [入場は15分前まで]

会場：レイボックスホール（さいたま市民会館おみや）
 展示室1（大宮門町 EAST 4階）
〒330-0846 さいたま市大宮区大宮門町 2-118
 JR線・ニューシャトルはか大宮駅東口徒歩3分

主催 埼玉県土地改良事業団体連合会（水土里ネットさいたま）
 共催 さいたま土地改良推進協議会/川越土地改良推進協議会/東松山土地改良推進協議会
 秩父土地改良推進協議会/本庄土地改良推進協議会/大里土地改良推進協議会
 加須土地改良推進協議会/春日部土地改良推進協議会
 後援 埼玉県

水土里ネットさいたま <埼玉県土地改良事業団体連合会> TEL 048-530-7352
(当会印)

受賞作品



水土里ネットさいたま会長賞
「農を守る」橋本 武男
(撮影場所：熊谷市)

講評：演出してもこれほど見事に決められないくらいの作品になりました。古木の紅葉とお地蔵様、笠をかぶった農夫、構図も良く、人物の大きさも過不足なくて素晴らしい作品になりました。撮影した時間帯もこの場の空気感を表現するのに最適でした。偶然出会わせた場所ではなく、日頃からのお気に入りのポイントだったのでしょね。



さいたま土地改良推進協議会会長賞
「収穫祭」堀越 力男
(撮影場所：さいたま市)

講評：秋日和の一日。高く持ち上げられた稲穂がこの作品を強いものにしました。家族での収穫でしょうか、それぞれに異なる動きがあって、集団でする稲刈りとは趣が違いますね。背景に副都心のビル群を小さく入れたのも成功しました。シャッターチャンスも良くて、爽やかな作品になりました。



川越土地改良推進協議会会長賞
「親子で田植」寺澤 俊博
(撮影場所：川越市)

講評：広角レンズを上手に使いました。カメラポジションも良かったですね。作者もこの人たちの仲間なのでしょうね。ここまで接近して撮るのは難しいと思います。田植をする人たちの奥行、上部立ち姿の人物、下部の苗、右側の少年の腰の部分など、どれをとってもギリギリのフレーミングに実力を感じました。それだけにプリントにもう一工夫欲しかったですね。



東松山土地改良推進協議会会長賞
 「夕暮れに染まる田園」橋本 英男
 (撮影場所：川島町)

講評：典型的な農村風景になりました。小さく映った人物ですが、この人がいなければ、ただの夕景色になるところでした。全体の構成も良く、太陽を入れずに撮ったこともこの作品を強くしました。レタッチで作った田園作品でないことを祈ります。



秩父土地改良推進協議会会長賞
 「虫送り」町田 正雄
 (撮影場所：皆野町)

講評：かつては県内各地で行われていただるま虫送りの行事です。今では皆野町の「虫送り」が唯一のようですね。夏草の生い茂る田舎道をゆく行列。山間部で営農を継承する人たち。竿の先を大きく揺らしていることで、参加者の意気込みを感じます。



本庄土地改良推進協議会会長賞
 「玉ねぎ収穫」荻野 利夫
 (撮影場所：本庄市)

講評：家族ならではの四人四様の分業ですね。手前から奥までフレーミングを無駄なくまとめました。ネットの赤が右に寄り過ぎて重くなるどころでしたが、左の女性らしき人物を一番手前に置いたことでバランスが取れました。広角レンズを上手に使いましたね。



大里土地改良推進協議会会長賞
 「オクラ畑は花盛り」渡辺 明洋
 (撮影場所：深谷市)

講評：野菜の花とは思えないほどオクラの花は美しいですね。望遠レンズを使ったことで花がクローズアップされました。陽の陰った時間帯に撮影したことで、花周辺の実や蕾も描写されました。後方の人物がいない時を狙って撮れるとさらに良い作品になりました。



加須土地改良推進協議会会長賞
 「家路」大澤 三男
 (撮影場所：行田市)

講評：夕方の良いタイミングで撮ることが出来ました。あぜ道を行く農夫の前かがみになった姿が田んぼに写り、典型的な農村風景となりました。咄嗟のことで、車両すべてを写そうとしたため、人物がやや左に寄り過ぎたのが惜しまれます。



春日部土地改良推進協議会会長賞
 「収穫の秋の風物詩」大山 敏
 (撮影場所：杉戸町)

講評：もみ殻の山に煙が上がり、作業もピーク時を感じさせます。右から中央に伸びる高压線。左下に置いたもみ殻。右下の刈り取った跡など、構図的にもまとまりのある作品になりました。奥に見える鉄塔などもこの町の特徴を表していました。



審査委員長特別賞

「桜の木の下で」須藤 稔
(撮影場所：飯能市)

講評：山間部で農業を営む人たちは、猪や猿、鹿などの被害が深刻です。時折、猟銃会などに駆除の依頼をされるようですが、期待ほどの効果はないようです。獣害対策用のフェンスを設置して自己防衛が現実です。この作品のタイトルは視点が違うようですね。



学生優秀賞

「何をやっているのかな？」関口 実花
(撮影場所：加須市)

講評：色づいた柿がたわわに実り、秋も深まる田園地帯。もみ殻の山に煙突が立ち、煙を上げれば焼き芋を連想するのもありかな。不安な空模様の気象条件は、田園の広がりや奥行き表現にプラスしましたが、主役は脇役より大きく撮るようにしましょう。

入選



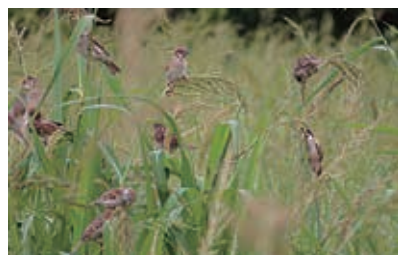
「日の出の収穫」
小澤 陌雄 (撮影場所：狭山市)



「田植え前の田んぼで宝探し」
田中 幸男 (撮影場所：小川町)



「次世代につなぐ」
野口 浩一 (撮影場所：上尾市)



「小鳥たちの楽園」
松本 太守 (撮影場所：秩父市)



「厳寒の朝」
石山 敬 (撮影場所：狭山市)



「おいしい」
齋藤 勝治 (撮影場所：滑川町)



「ちょっと一休み」
佐藤 由雄 (撮影場所：羽生市)



「百八塚が灯る日」
早野 由香 (撮影場所：美里町)



「大杉様あばれ神輿」
蛭川 隆市 (撮影場所：熊谷市)



「水田の日の出」
斉藤郁太郎 (撮影場所：久喜市)

土地改良区理事、監事、職員並びに市町村担当職員等研修会

各土地改良推進協議会（さいたま、川越、東松山、秩父、本庄、大里、加須、春日部）合同で下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。

とき 令和6年2月27日（火）

場所 鴻巣市文化センター（クリアこうのす）小ホール

お問合せ先 水土里ネットさいたま 総務部団体支援課 TEL 048-530-7356

農業基盤整備資金の金利改定について

1月18日付けの株式会社日本政策金融公庫及び沖縄振興開発金融公庫の農業基盤整備資金の金利改定について、下記のとおりお知らせします。

区 分	改 定 前					改 定 後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）				融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	1.25	—	—	—	—	1.15	—	—	—	—
団体営補助残	1.10	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—
非補助一般	1.10	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—
非補助利子軽減	1.10	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—
災害復旧	—	0.70	0.70	0.95	1.10	—	0.60	0.60	0.85	1.00

お問合せ先 水土里ネットさいたま 事業部農村整備課担当 根岸 TEL 048-530-7348

連合会日誌

開催日	会議・行事	開催地	
10月	16～20日	土地改良区体制強化事業施設管理研修（後期）	さいたま市
	30日	農業農村整備事業等に関する意見交換会	さいたま市
	30～31日	疏水フォーラムin常西用水2023	富山県
11月	7日	農業農村整備の集い	東京都
	9～10日	ため池フォーラムinとっとり	鳥取県
	13日	埼玉県知事への要望活動	さいたま市
	20日	第3回監事会・第2回理事会	熊谷市
	21日	さいたま水土里ネット女性の会現地研修会	群馬県
	21日	埼玉県農業集落排水事業連絡協議会先進地視察研修会	美里町
	22日	ため池サポートセンター研修会	熊谷市
	25～26日	2023彩の国食と農林業ドリームフェスタ	熊谷市
	30日～12月1日	水土里ネット職員研修会	山梨県・長野県

謹賀新年

令和六年 元旦

埼玉県農林部

農林部 部長 横塚正一	農林部 副部長 片桐徹一	農林部 部長 竹詰裕一	農林部 副部長 野澤裕子	農林部 部長 吉田有紀彦	農林部 副部長 田嶋貴人	農林部 部長 井上幸人	農林部 副部長 田嶋幸人	農林部 部長 長谷川征慶	農林部 副部長 富岡誠	農林部 部長 吉田孝彦	農林部 副部長 勝田孝夫	農林部 部長 戸井正幸	農林部 副部長 田尾幸夫	農林部 部長 吉岡幸夫	農林部 副部長 鈴木順	農林部 部長 野口雄一郎	農林部 副部長 長島敦	農林部 部長 稲場康仁	農林部 副部長 辻村真司	農林部 部長 木村真司	農林部 副部長 西澤徳一郎	農林部 部長 春日部農林振興センター 副所長 兼 農林整備部長 副所長 兼 農林整備部長 副所長 兼 農林整備部長	農林部 部長 農村整備計画センター 所長
-------------	--------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------	---------------	---	----------------------

水土里ネットさいたま

会長 葛西用水路土地改良区理事長 三ツ林裕己	副会長 美里町 町長 原信次	常務理事 学識経験者 大坪孝茂	理事 足立北部土地改良区理事長 渡辺秋夫	理事 荒川右岸用排水土地改良区理事長 川合善明	理事 東松山市 市長 内田光夫	理事 滑川町 町長 森田光一	理事 秩父市 市長 北塚信篤	理事 本庄市 市長 吉田信也	理事 熊谷市 市長 小林哲一	理事 深谷市 市長 大島亮一	理事 大里用水土地改良区理事長 夏目晃一	理事 元荒川上流土地改良区理事長 河田克明	理事 羽生市 市長 高澤亮一	理事 山崎市 市長 山口京子	理事 幸手市 市長 木村純夫	理事 NPO法人水のフォルム理事長 藤原一子	代表監事 新堀土地改良区理事長 金子昭一	監事 西吉見南部土地改良区理事長 山崎正夫	同 埼玉県北川辺領土地改良区理事長 山崎正夫	連合会 事務局長 兼 総務部長 近藤清隆	同 事務局長 兼 総務部長 近藤清隆	同 事務局長 兼 総務部長 近藤清隆	同 事務局長 兼 総務部長 近藤清隆
------------------------	----------------	-----------------	----------------------	-------------------------	-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------------	-----------------------	----------------	----------------	----------------	------------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--------------------



水土里ネットさいたま 埼玉県土地改良事業団体連合会

〒360-0847 熊谷市籠原南二丁目83番地
 TEL 048 (530) 7340 FAX 048 (530) 7370
<https://www.saidoren.or.jp/>

